

「人が動く」企業を目指して

大浦敬子氏（株式会社おとなの学校 代表取締役）が経営方針説く

12月22日に開催された「ごうつ企業魅力向上TOPセミナー」の第3回。ゲスト講師で株式会社おとなの学校代表取締役の大浦敬子氏が講演し「人が動くために」をテーマに、同社の経営方針や同社が取り組んでいるさまざまな施策を紹介しました。



「楽しくてしょうがない職場を作るためには、それぞれの価値観を埋めるため『聞く』ことが必要」と語りかける大浦氏

今回は14社から22人が出席。さらに、「おとなの学校」が介護事業所の新たな在り方を開拓しているとあって、オブザーバーとして10人以上の参加がありました。

最初に、セミナー通じてのメイン講師である小林秀司講師が、先だって参

加企業を対象に実施した、「社員意識調査」の結果について説明。「思った以上に厳しい結果になった企業もあると思うが、これからどう変わっていくかが大事。やれるところからやってみよう」と話しました。現在、政府が推進しようとしている「働き方改革」

について、多様な人材に働いてもらうこと、と解説し、人本経営との相性の良さを強調しました。

世の中に対応するためには自らの変化も必要

続いてマイクを握った大浦氏は「私

もここにいる皆さんと同じように、経営に悩んで苦しんでいる」と切り出し、この年から月次の経営会議では参加者全員がコスプレ衣装を着て行っていることを紹介。「これで『楽しい』って思ってくれる人と一緒に働いていきたいんです」と話し、会場を驚かせました。また、「経営はきれいごとだけではない」とし、驚異的なスピードで変化し続けている世の中に対応するため、自らも変化しなければならない、と語りました。

株式会社おとなの学校は、介護サービス事業のフランチャイズ展開や、介護関連の書籍、雑誌などの出版を行っている企業です。同社が全国12カ所でフランチャイズ展開する「おとなの学校」は、その名の通り「教室」という空間があるのが特徴。黒板や時計、時間割があり、チャイムが鳴る。そういった学校の記憶は「みんなの記憶の奥深くにアンカーされている」と大浦氏は語ります。大浦氏は「高齢者が

求めているのは遊びではなく、学び」「最高の顧客満足は『自分でできること』」「高齢者に限らず、必要なものは『未来』」とし、「おめでとう」「ありがとう」を自然に言い合える関係を築くための介護メソッドを作り上げました。

「楽しくてしょうがない」という職場を作れるように

「いかに少子化、人材不足に対応できるか。これからはスタッフの奪い合

いがレッドオーシャンになる」と警笛を鳴らした大浦氏。「楽しくてしょうがない、という職場を作ることが重要」とし、そのためにはそれぞれが持っている価値観の違いを埋めるため「聞く」ことが大切だと語りました。そして、聞いたことは実践し、実践する中で、自分のスタイルを探しながら最高の自分を目指す一方で、スタッフにも最高の自分を目指してもらうことが理想の状態であると説きました。

小林講師、大浦氏との懇親会を開催



セミナー後には、小林講師、大浦氏との交流を深めていただくため、懇親会を開催しました。

参加者の皆さまは、簡単な飲食とともに、ざっくばらんな雰囲気の中で交流を楽しんでいました。

次回は大阪企業訪問！

直接話を聞いて、今後役に立てるチャンスです

次回はよいよ、今セミナー最大の目玉となる大阪への先進企業訪問です。訪問先は、女性が活躍する企業として安部総理大臣も視察に訪れた株式会社天彦産業（大阪市住之江区）、求人応募数が募集数の100倍を超える「幸せ制作会社」株式会社HEADS（大阪市阿倍野区）、鋳物業といういわゆる3K職場でありながら驚異的な離職率の低さを誇る辰巳工業株式会社（大阪府茨木市）、小林講師の考えに共感した社長が60歳を過ぎて人本経営に取り掛かり始めた株式会社クリスタルプランニング（大阪府高槻市）の4社。個性的な経営者の方々から直接、お話を聞き、今後の自社の取り組みに役立てていただければと思います。



【次回訪問する大阪の企業】 1. 天彦産業 2. HEADS 3. 辰巳工業 4. クリスタルプランニング